

令和 7 年度第 2 回 足立区在宅療養推進協議会 次第

1 開会挨拶 足立区在宅療養推進協議会 有野 亨 会長

2 案件

(1) 令和 7 年度医療介護スキルアップ研修について

【資料 1】

ア 第 1 回医療介護スキルアップ研修の開催結果について

イ 第 2 回医療介護スキルアップ研修の開催について

① 研修テーマ及び開催候補日等について

開催候補日 11 月 19 日 (水) または 27 日 (木)

② 受講証明書の発行について

(2) 医療介護研修の参加対象について

ア 特別養護老人ホーム等施設へのご案内について

イ 医療介護専門職へのご案内について

(3) 在宅療養普及啓発紙の発行について

【資料 2】

ア 進捗状況の報告について

イ 各団体の配布枚数について

3 協議事項

(1) 在宅療養（訪問医療・介護）区民啓発について

(2) 多職種連携のエチケット・マナーについて

4 報告

(1) 在宅療養区民啓発講座の開催について

【資料 3】

(2) 入退院支援相談員交流会の開催について

【資料 4】

(3) MCS の登録状況報告及び操作説明会の開催について

【資料 5】

(4) 区民健康まつりについて

【資料 6】

(5) 大研修室の利用実績について

【資料 7】

(6) 「医療と介護の連携・研修センター」ホームページの更新について

(7) 在宅療養支援窓口の相談実績について

【資料 8】

5 各団体からの情報共有について

6 令和7年度第3回足立区在宅療養推進協議会の開催について

(1) 開催場所

すこやかプラザ あだち

(2) 開催候補日時

令和7年11月 ①10日(月) ②12日(水) 19時～

(3) 内容

- ア 在宅療養の推進について
- イ MCSの活用促進について
- ウ 各職種・団体の課題共有について など

7 事務連絡

令和7年度 第1回医療介護スキルアップ研修の開催結果について

1 実施概要

研修名	令和7年度 第1回足立区医療介護スキルアップ研修																										
目的	医療介護現場での実践力向上を図り、多職種間の連携を推進する。																										
受講者	<table><tr><th>団体名</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>足立区医師会</td><td>21</td></tr><tr><td>足立区歯科医師会</td><td>4</td></tr><tr><td>足立区薬剤師会</td><td>9</td></tr><tr><td>足立区介護サービス事業者連絡協議会</td><td>44</td></tr><tr><td>東京都柔道整復師会足立支部</td><td>4</td></tr><tr><td>あだちPOSネットワーク</td><td>6</td></tr><tr><td>東京都栄養士会足立支部</td><td>3</td></tr><tr><td>足立区多機能サービス連絡会</td><td>1</td></tr><tr><td>地域包括支援センター</td><td>67</td></tr><tr><td>その他</td><td>4</td></tr><tr><td>合計</td><td>163</td></tr></table>			団体名	参加人数	足立区医師会	21	足立区歯科医師会	4	足立区薬剤師会	9	足立区介護サービス事業者連絡協議会	44	東京都柔道整復師会足立支部	4	あだちPOSネットワーク	6	東京都栄養士会足立支部	3	足立区多機能サービス連絡会	1	地域包括支援センター	67	その他	4	合計	163
団体名	参加人数																										
足立区医師会	21																										
足立区歯科医師会	4																										
足立区薬剤師会	9																										
足立区介護サービス事業者連絡協議会	44																										
東京都柔道整復師会足立支部	4																										
あだちPOSネットワーク	6																										
東京都栄養士会足立支部	3																										
足立区多機能サービス連絡会	1																										
地域包括支援センター	67																										
その他	4																										
合計	163																										
日程	令和7年7月26日（土）午後2時～午後4時																										
開催場所	すこやかプラザ あだち 3階 大研修室																										
講義内容	<p>第1部 基調講演 「睡眠の謎に挑む～健やかな睡眠から始まるウェルネス～」 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 機構長 柳沢正史氏</p> <p>第2部 シンポジウム</p> <table><tr><td>結城 宣博氏</td><td>足立区社会福祉協議会</td></tr><tr><td>橋爪 敏彦氏</td><td>足立区医師会</td></tr><tr><td>羽田 雅代氏</td><td>訪問看護部会</td></tr><tr><td>永田 健一氏</td><td>足立区多機能サービス連絡会</td></tr></table>			結城 宣博氏	足立区社会福祉協議会	橋爪 敏彦氏	足立区医師会	羽田 雅代氏	訪問看護部会	永田 健一氏	足立区多機能サービス連絡会																
結城 宣博氏	足立区社会福祉協議会																										
橋爪 敏彦氏	足立区医師会																										
羽田 雅代氏	訪問看護部会																										
永田 健一氏	足立区多機能サービス連絡会																										

2 アンケート結果

(1) 回答数 139件(163名参加)

(2) 質問項目等

ア 足立区医療介護スキルアップ研修の参加回数を教えてください

① 初めて(71) ② 2回目(18) ③ 3回以上(51)

イ 研修の内容を理解することができましたか。

第1部基調講演について

① よく理解できた(101) ② 理解できた(37) ③ あまり理解できなかった(1)
④ 全く理解できなかった(0)

第2部シンポジウムについて

① よく理解できた(91) ② 理解できた(44) ③ あまり理解できなかった(1)
④ 全く理解できなかった(0)

ウ 研修の満足度を教えてください。

① とても満足した(94) ② 満足した(43) ③ あまり満足できなかった(2)
④ 全く満足できなかった(0)

エ 今回の研修は今後実践に活かせると思いますか。

① とても思う(83) ② 思う(53) ③ あまり思わない(3)
④ 全く思わない(0)

オ この研修をどこで知りましたか。

① MCS(20) ② 所属団体からの通知(111) ③ 他事業所からの紹介(4)
④ その他(居宅部会からのメール、区からのメール、在宅療養推進協議会)

(3) 次回の研修で取り上げて欲しいテーマ

ア 認知症ケアについて (20)

イ 虐待防止と身体拘束の適正化について (18)

ウ 社会的処方について (24)

エ その他(身寄りのない高齢者の支援、医療機関における意思決定支援の在り方、難病)

(4) 感想など自由意見

- ・ 睡眠時間をしっかりとることでパフォーマンスがあがることを広めていけるとよいと思いました。シンポジウムの現場の課題と対応にも納得。新しい知識も得られ、素晴らしい企画だったと思います。
- ・ 睡眠について学ぶ機会がなかったのでとても興味深くきかせていただきました。また現場の悩みなども含めて明日から使える解決策なども学ぶことができとても貴重な時間でした。
- ・ シンポジウムにより、更に講義内容の理解が深まった。

令和 7 年度 第 2 回足立区医療介護スキルアップ研修の開催について

(1) 開催候補日

1 1 月 1 9 日 (水) または 2 7 日 (木) 1 9 時～2 1 時

(2) 開催場所

すこやかプラザ あだち 3 階 大研修室

(3) 開催方法

参集及び Web 配信

(4) 第 2 回の研修で取り上げて欲しいテーマ (第 1 回研修アンケート結果より)

ア 認知症ケアについて (2 0)

イ 虐待防止と身体拘束の適正化について (1 8)

ウ 社会的処方について (2 4)

エ その他

(身寄りのない高齢者の支援、医療機関における意思決定支援の在り方、難病など)

(5) 内容

司 会	足立区 医療介護連携課 渡邊 和広
開会挨拶	足立区 在宅療養推進協議会 会長 有野 亨
第 1 部 (6 0 分)	テーマ 【 】
	講師 【 】
	講演概要 【 】
第 2 部 (4 5 分)	シンポジウム 登壇者 【 】 【 】 【 】
閉会挨拶	講 評 【 】 閉会挨拶 【 】

令和7年度在宅療養普及啓発紙

○在宅療養の普及啓発を目的として、区民向けの啓発紙を発行する

対象

在宅療養が気になっている方（ご本人やその家族）※50代～80代を想定

目的

在宅療養を知っていただき、選択肢に加えてもらう

発行予定

年1回
※令和7年度は12月を予定

配布場所

情報スタンド（駅）、ハウカツ、区内医療介護機関、区内公共施設、イベントなど

発行までのスケジュール

5月

在宅療養推進協議会
（第1回：6/11）

プロジェクト
チーム
選出

8月

在宅療養推進協議会
（第2回：8/28）

①紙面構成
②配布数
決定

11月

在宅療養推進協議会
（第3回）

完成イメージ
共有

12月

普及啓発紙
発行

P T会議で出たご意見

- ・ 在宅療養は足立区だけでなく、国や東京都で進めている。
- ・ 生きた言葉で分かりやすく伝えたい。
- ・ 年1回の発行なのでキャッチーなフレーズを考えたほうが良い。
- ・ 12月発行なので正月に家族が集まった際の話題になるような内容に。
- ・ ギャップを埋める手伝いが出来たらよい。
- ・ 情報を詰め込みすぎはよくない。2つ3つこれぞという情報をのせる方がよい。

OPT会議で決めた内容

啓発紙媒体

タブロイド紙

内 容 ※別紙「紙面構成（案）」参照

- 1 面 : 表紙（写真）
- 2・3 面 : 在宅療養利用の場面紹介＋関わる職種紹介
- 4 面 : 国の統計＋普及啓発紙の発行理由

キャッチコピー

表紙：**いつまでもおうちで暮らすレシピ**

→いろいろな方法を伝える手順書（レシピ）

中面：**わたしの暮らしメニュー**

→その人にとって一番良い選択肢（メニュー）がある

たくさんの具材（多職種）によってできたメニュー（選択肢）がある

啓発紙名

未定（委託業者と案出し→PTメンバーへ相談→協議会委員へMCSで確認）

写真撮影

表紙、2・3面の写真撮影→委託業者
各団体に依頼予定（推薦：9月19日締め切り）

配布依頼

各団体に依頼予定

Keihatushi

いつまでも
おうちで
暮らす
レシピ



ケガや病気など
様々な場面でも
おうちで療養を続ける
ための方法（レシピ）が
足立区にはあります。

わたしの暮らしメニュー

自宅療養編

療養生活を支える多職種（料理の材料）を紹介します。

たくさんの多職種が一人一人にあった選択肢（メニュー）を一緒に探してくれます。

歯が悪くてほとんど食べれない。体重も落ちてきた。

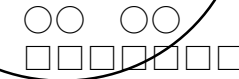


イラスト

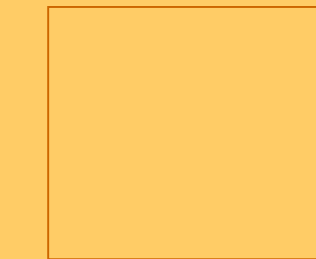
「食べる・栄養をとる・元気になる」生活を支える

訪問看護師

写真



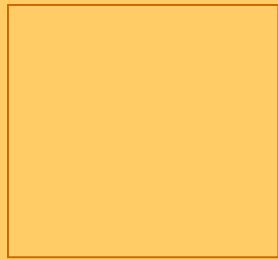
父が自宅で最期まで過ごしたいと言っています。私たちにできることは...？



イラスト

“自分らしい最期”を支える

転倒して捻挫。歩くのが不安で外に出られなくなった...

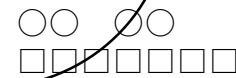


イラスト

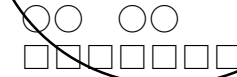
“動きづらさ”を諦めない

歯科医師

写真



写真



薬剤師

がんの痛みがつらく、夜も眠れない日が続く

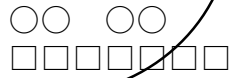


イラスト

体と心の“つらさ”を和らげるケア

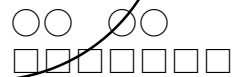
医者

写真



柔道整復師

写真



骨折で手術を受け、退院後は自宅で療養。まだ歩行が難しく介助が必要。



イラスト

“できること”を取り戻す

がんの治療を終えたけれど、体力が落ちて日常生活が辛い。

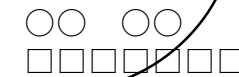


イラスト

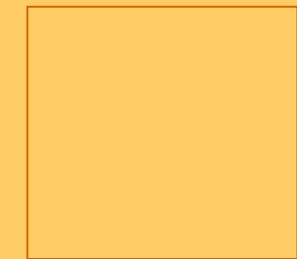
病気があっても、“その人らしい”生活“を大切に

ケアマネジャー

写真



介護に疲れてしまった。少し休みたいけど誰にも頼れない気がして...

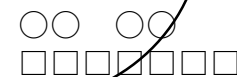


イラスト

“家族も支える”のが在宅ケアの基本

管理栄養士

写真



介護士・ヘルパー

写真



訪問リハビリ専門職

（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）

写真



人生お腹いっぱい！



①在宅療養ケース紹介

転倒して捻挫。
歩くのが不安で外に出られなくなった…。

ケースごとに
該当者に関わる多
職種を説明
(例) ○○が○○
などをしながら自
宅療養をサポート
してくれます。

利用者の
症状が伝わる
イラスト

“動きづらさ”を諦めない

②職種紹介

柔道整復師



業務のイメージが
つきやすい写真



職種の説明

(普段の仕事内容等)

国の統計

普及啓発紙を
発行した理由

在宅療養区民啓発講座の開催について

1 令和 7 年度在宅療養講座の実施について

医師、訪問看護師等がそれぞれの立場から「療養現場の実際」を伝え、区民の在宅療養に関する理解を深める。なお今年度は回数を 1 回増やし東西で計 2 回実施する。

2 開催概要

(1) 講座内容

- ア 在宅療養総論や訪問看護、居宅介護支援の説明
- イ 地域包括支援センターによる相談ブースの設置
(個別の在宅療養に関する相談を受ける)

(2) 開催内容

	第 1 回	第 2 回
日時	令和 7 年 1 1 月 1 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時	令和 8 年 2 月 1 4 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時
場所	勤労福祉会館 第 1 ホール	すこやかプラザ あだち 大研修室
定員	各回 1 0 0 名 (先着順)	
講師	① ハツ木診療所 山下 俊樹 氏 ② 手ぬぐい体操 馬場コーディネーター ※ ぱく増し手ぬぐい配付 ③ あけぼの訪問看護ステーションあだち 羽田 雅代 氏 ④ ケアマネジメント センターはなはた 大島 智丈 氏	未定
相談ブース	地域包括支援センター	

(3) 申込方法

電話、F A X、足立区オンライン申請システムにて受付

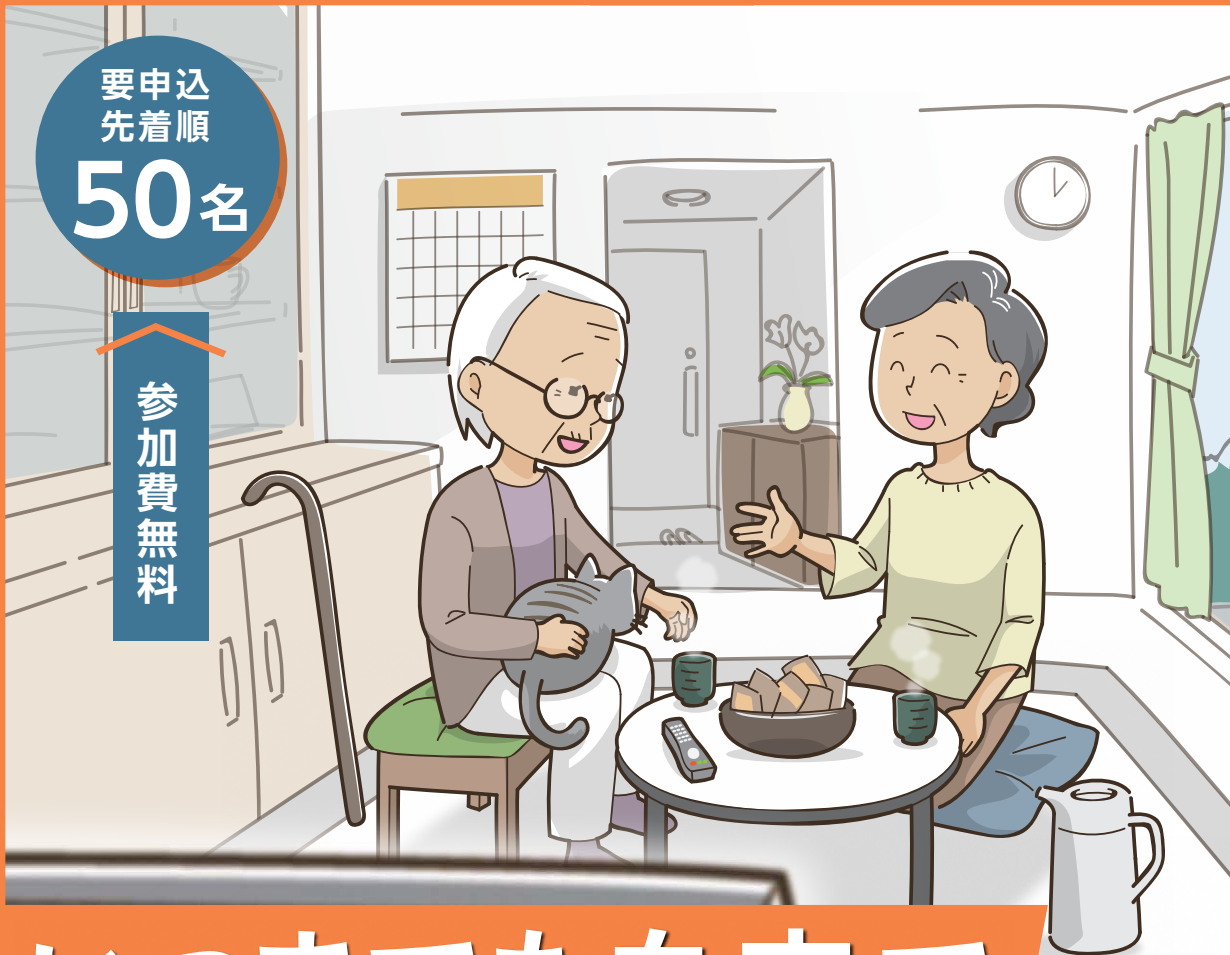
(4) 周知方法

- ア あだち広報 1 0 月 1 0 日号、1 月 1 0 日号に掲載予定
- イ 区内公共施設、地域包括支援センター、区内医療介護機関等へチラシ配付、HP、SNS など

要申込
先着順

50名

参加費無料



病気・認知症になっても、一人で安心して暮らせる
「在宅療養」について学んでみませんか？

いつまでも自宅で 暮らせるって ホント？

在宅療養講座 ～在宅ケアのいま～

在宅療養の
今はコチラ



令和7年

1 / 18土

時間

午後2時から午後4時まで
(受付▶午後1時30分から)

場所

梅田地域学習センター
(エル・ソフィア)
3階 第1学習室

第1部

在宅療養ってなに？

「病気をかかえていても、介護が必要になっても、自宅で暮らせるの？」
あなたやご家族が安心して自宅で暮らせるための支援チームがあります。
入院でも、施設でもない、「在宅療養」という選択肢について、
分かりやすくお伝えします。



講師

足立区医師会 千住中央診療所 医師
山本 亘 氏

第2部

笑和体操

笑って和んでワッハッハ！首・肩・腰のチョコッと体操をしましょう。



講師

地域包括支援センター西新井 センター長
大西 健太郎 氏

第3部

在宅療養の実際

「在宅療養を選んだら自宅で治療するの？点滴は？」
医療・介護サービスの調整から、傷の処置、点滴
など、「自宅で暮らしたい」を支える支援チームの
活動を実例を中心にお伝えします。



講師

在宅総合支援センターふくろう
主任介護支援専門員
藪井 ひとみ 氏



あけぼの訪問看護ステーションあだち
訪問看護認定看護師
羽田 雅代 氏

》》 お申し込み・お問い合わせ 《《

申込期間

12月11日(水) から 1月10日(金) まで

申込方法 ①

電話

足立区医療介護連携課

03-3880-5643

申込方法 ②

オンライン申請

右記の二次元コードから専用フォームにてお申し込みください。



申込方法 ③

FAX 03-3880-5614

下記、申込書に記入し、FAXをお送りください

FAX 申込書

フリガナ

氏名

電話番号

(例) 車いす使用
備考

入退院支援相談員交流会について

1 目 的

- (1) 入退院連携に関する医療・介護ネットワークの構築
 (2) 在宅療養 4 つの場面（日常の療養支 援・入退院支援・急変時の対応・看取り）での課題解決に向けた理解促進

2 開催回数

年 4 回（予定）

3 第 1 回開催結果

対 象 者	区内在宅療養支援病院の相談員
参加者	30 病院 51 名
日 時	令和 7 年 5 月 1 5 日(木) 午後 6 時～午後 7 時半 (90 分)
会 場	すこやかプラザあだち 3 階研修室N
開催内容	① 自己紹介、病院紹介（病院の特徴等） ② MCS・相談窓口のご案内 ③ 「日常の療養支援」について（グループワーク）
自由意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段、電話でやり取りしていた方々と実際お会いして交流できて良かったです。 ・ 日頃聞けない他病院の支援内容を知ることができ、参考になりました。 ・ 経験歴の長いベテランの方々の意見を伺えて、今後、自分の支援に活かせられたらと思います。 ・ 相談員の目指すものを言語化できて良かったです。 等

4 第 2 回開催概要

対 象 者	区内在宅療養支援病院の相談員
参加見込み	30 病院 50 名
日 時	令和 7 年 9 月 1 1 日(木) 午後 6 時～午後 7 時半 (90 分)
会 場	すこやかプラザあだち 3 階研修室N
開催内容	① 介護保険外サービスについての説明 ② MCS・相談窓口のご案内 ③ 自己紹介、病院紹介（病院の特徴等） ④ 入退院支援の場面における連携の課題（グループワーク）

MCSの登録状況報告及び操作説明会の開催について

1 MCSの登録状況について

(1) 令和7年7月末の登録状況

ユーザー総数（前月末）	投稿総数（前月末）	患者総数（前月末）
すべて 3,001 (2,872)	すべて 386,769 (367,971)	患者グループ総数 5,248 (5,089)
内訳	内訳	内訳
医療介護職 2,947 (2,819)	医療介護職 383,845 (365,158)	本人未参加 5,024 (5,024)
患者・患者家族 54 (53)	患者・患者家族 2,924 (2,813)	本人参加済 44 (41)
施設数（前月末）	自由グループ総数（前月末）	
医療介護関係施設 1,168 (1,138)	自由グループ 821 (771)	

(2) MCS登録数と利用率の推移

	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月	令和7年3月	令和7年7月
ユーザー数	792	1,157	1,650	2,521	3,001
ログイン数	416	557	950	1,582	1,929
ログイン率	52.5%	48.1%	57.6%	62.8%	64.3%

2 第1回MCS研修「初級編」の開催結果

(1) 開催日 令和7年6月12日（木）15:00～16:30

(2) 開催場所 すこやかプラザ あだち 3階 研修室W

(3) 参加者 18名

【内訳】

足立区医師会（3）薬剤師会（2）足立区介護サービス事業者連絡協議会（4）

足立区多機能サービス連絡会（1）地域包括支援センター（8）

(4) 研修内容

① グループの作り方 ② 招待・承認 ③ コメント入力、リアクション、 など

※ 実施後のアンケート結果より、実際の活用例を聞きたいとの意見が多かった。

3 第2回MCS研修「中級編」の開催について

(1) 開催日 令和7年9月18日（木）15時～

(2) 開催場所 すこやかプラザ あだち 3階 大研修室N

(3) 研修内容

ア 活用事例の紹介

① ゼロイチ在宅クリニック 任 洋輝 氏

② ベストリハ訪問看護ステーション 鳥飼 由紀 氏

③ まんまる薬局 石丸 勝之 氏

イ 患者・利用者グループの作成 など

2025年は千住宿ができて400年め！

ビュー坊は、
「お祝いのプレゼントを届けてね！」
と、おつかいを頼まれました。



プレゼントのメモ帳を持って出かけたビュー坊。
ところが、行き先を書いた紙を汚しちゃった！

プレゼントはどこへ届けるんだっけ？
クイズに答えて、ビュー坊に教えてあげて！

教えてくれたあなたにも、
ビュー坊からメモ帳をプレゼント！

ほかにもプレゼントがいっぱい！

きてくれたみんなに

すうりょうげんてい
数量限定！



ビュー坊の
おめん



ビュー坊グッズ
いろいろ

...など

いりようかいご
医療介護すこやかクイズラリー

とど
プレゼントを届けよう！

せんじゅ じゅく かいしゅく
千住宿開宿400年

きねん
記念のおつかい編

だい かい
第52回
足立区民健康まつり

がつ にち
9月27日(土)

じ
14時～16時

すこやかプラザ
あだち
(足立区江北5-14-5)

にゅうじょうむりよう
入場無料

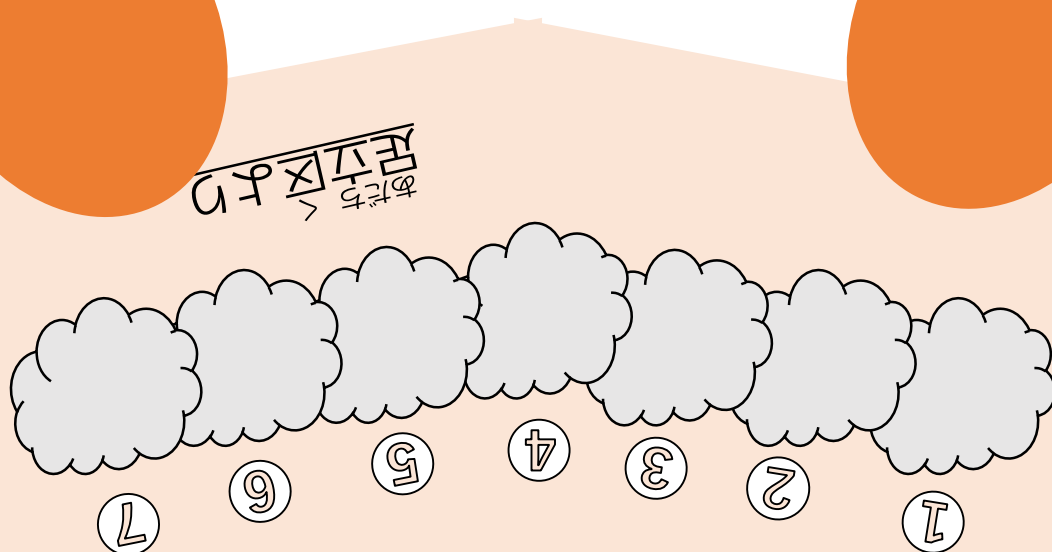


ビュー坊もくるよ！

「美しいまち」は「安全なまち」
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中 2028



クイズの場所は、この紙をひらいてみてね！



ビュー坊へ
メモ帳をこへ届けてね！

7つのクイズに答えて、言葉を埋めよう！



7つの★をまわってクイズに答えよう！

ヒント

1

ざいたくりょうよう

在宅療養ってなに？ どんなことをするの？

おじいちゃんの具合が悪くなっちゃった！

1人で歩けなくなって、病院に行くのもたいへん...



でも、だいじょうぶ

「おいしゃさん」がおうちにきてくれるよ！

2

車いすは、魔法ののりもの！

足がいたくて歩けない人を
助けてくれるよ

車いすをつかえば、
みんなでおでかけできるね！



3

ビューティフル・ウィンドウズ運動って？

まちをきれいにして、「このまちはみんながたいせつに
しているんだな」という気持ちを広げる運動なんだ。



合言葉は「美しいまちは安全なまち」

「ビュー坊」がいつもまちをみまもっているよ



4

ちいき ほうかつ しえん

地域包括支援センターってどんなところ？

- ・お年寄りやその家族の介護のそうだんができるよ
- ・お年寄りのなやみごとともそうだんできるよ



まちの中にある、たいせつなセンターだよ！

5

「すこやかプラザ あだち」がある江北エリア
には「けんこう」に関するものが沢山！

例えば

とうきょうじよし いち だいがく ふぞく
東京女子医科大学附属
足立医療センター
みんなの元気と笑顔を
まもる大きな病院だよ！

こうやしょうがっこうあとち
高野小学校跡地
スポーツ施設



広い広場でみんなで運動できる
場所を今作っているんだって！

6

足立区に「高齢者」は何人くらいいるの？

「高齢者」とは、65才以上のお年寄りのことだよ。

令和
六年
高齢者
168,956人

区の人口
694,725人



じつは
足立区に住む人
の約4人に1人が
高齢者なんだ！

7

お手伝いの計画は、
“ケアマネジャー”におまかせ！



「お風呂のお手伝いが必要かな？」

「ごはんの用意をお願いしたいな！」...

みんなが困らず生活できるように、
お手伝いの計画をいっしょに考えてくれるよ！



3階

けんこう そうだん

しごと たいけん

健康相談 & お仕事体験

はいしゃ

やくざいし

歯医者・薬剤師の仕事を
体験しよう！



だいけんしゅうしつ
大研修室



かいご
介護ルームツアー

介護用ベッドや
コミュニケーション
ロボットとの暮らし
を体験しよう！

ふきぬ
吹抜け

ロビー



「ながら見守り」

啓発ブース

ビュー坊と写真
がとれるよ！

ちいき ほうかつ
地域包括
支援センター
江北



健康体操

みんなで
体操をしよう！

1階



すこやかロビー

スタート！

そうごうけつけ
総合受付

健康機器

ゴール！
プレゼントを
もらってね

プレゼント
ごうかん
交換



こうれいしゃ
高齢者体験

お年寄りの
からだの変化を
体験しよう！

くるま
車いす体験

でんどう
電動車いすに
の
乗ってみよう！

大研修室の利用実績について

資料 7

		N			W			E			合計
種別	回数等	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
全体	利用回数	43	41	25	36	43	23	38	44	22	315
	利用可能数	102	102	102	102	102	102	102	102	102	918
	利用率	42.2%	40.2%	24.5%	35.3%	42.2%	22.5%	37.3%	43.1%	21.6%	34.3%
平日	利用回数	42	39	23	35	41	22	37	42	21	302
	利用可能数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	630
	利用率	60.0%	55.7%	32.9%	50.0%	58.6%	31.4%	52.9%	60.0%	30.0%	47.9%
土日祝	利用回数	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
	利用可能数	32	32	32	32	32	32	32	32	32	288
	利用率	3.1%	3.1%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	6%	3.5%
午前・午後 (夜間・土日・ 祝日除く)	利用回数	42	39	－	35	41	－	37	42	－	236
	利用可能数	70	70	－	70	70	－	70	70	－	420
	利用率	60.0%	55.7%	－	50.0%	58.6%	－	52.9%	60.0%	－	56.2%

利用回数 ※ 回数は延べ（1回で3部屋使用すると3カウント）			
足立区医師会	14		
足立区介護サービス事業者連絡協議会			
（居宅介護支援部会）	6		
（訪問看護部会）	6		
あだちPOSネットワーク	3	医療介護団体	29
医療介護連携課	149		
高齢者地域包括ケア推進課	40		
福祉管理	9		
介護保険課	6		
障がい福祉課	2	福祉部	206
衛生管理課	4		
江北保健センター	6		
こころとからだの健康づくり課	8		
データヘルス課	5	衛生部	23
基幹地域包括支援センターあだち	11		
地域包括支援センター江北	8		
成年後見センターあだち	17	社協・ホウカツ	36
まちづくり協議会	1		
障がい団体内覧	18		
江北町会見学	2		
合計	315	合計	315

在宅療養支援窓口の相談実績について
(令和7年4月1日～令和7年7月31日)

1 相談内容別件数

相談分別	令和6年度	令和6年度 4月～7月末	令和7年度 4月～7月末
	件数	件数	件数
在宅療養に関すること	54	25	18
利用者の入院先医療機関に関すること	37	14	6
保健医療福祉制度・サービスに関すること	20	8	3
利用者の入所先施設に関すること	16	3	3
受診に関すること	10	1	5
利用者の転院先医療機関に関すること	8	3	1
支援困難な認知症の利用者に関すること	4	1	1
利用者の治療・疾患に関すること	2	2	0
ケアマネジメントに関すること	2	1	0
退院後の利用者の処遇に関すること	2	0	3
利用者の看取りに関すること	0	0	0
その他	11	4	3
	166	62	43

* 複数項目について相談の場合あり

2 相談者別件数

相談者	令和6年度	令和6年度 4月～7月末	令和7年度 4月～7月末
	件数	件数	件数
居宅介護支援事業所	75	28	14
本人・家族	30	11	5
地域包括支援センター	22	7	9
病院MSW	8	3	3
診療所	4	2	0
地域住民	4	2	0
訪問看護ステーション	3	2	0
施設	3	1	2
病院看護師	2	0	3
介護事業所	2	0	0
障害者施設	1	0	0
他区市町村連携窓口	1	1	0
その他	5	1	6
合計	160	58	42

3 相談内容の分析

令和6年度から変わらず、相談内容の1位は「在宅療養に関すること」2位は「利用者の入院先医療機関に関すること」である。

また「保健医療福祉制度・サービスに関すること」や、「入所先施設に関すること」の相談は減ってきており、「受診に関すること」の相談が多かった。

相談者に関しては、本人家族からの問い合わせは減っており、福祉事務所や区市町村職員からの相談が増加傾向にある。

4 相談事例

- ・ 在宅酸素使用・送迎可能なデイケア先教えてほしい。
- ・ 高次脳機能障害の方の社会復帰支援も含めて対応してくれる病院はないか。
- ・ 往診で禁煙治療をしてくれる医療機関はないか。
- ・ かかりつけの外来はあるが、体調が悪いので一時的に往診を頼みたいがどのようにすればよいか。

全般的に相談案件のニーズが多様化している。

- ・ ステロイド内服調整ができる訪問医を探している。
- ・ バクロフェンの治療を受けているが、セカンドオピニオン先があるか。
- ・ 中国語対応可能な訪問看護、訪問診療を紹介してほしい。
- ・ 言語聴覚士の訪問リハビリは可能か。
- ・ 耳鼻科、眼科、精神科、整形外科の訪問診療の情報提供など